

目標達成計画

作成日: 平成 29年 11月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に対し職員全員が言葉の意味を正しく理解し、共有して実践しているか確認が必要。	理念に沿った介護を職員全員が出来るようにし、入居者様を支えていく。	月1回のホーム会議で理念に沿った介護をしているか話し合いの中で確認する。ズレが生じた場合、もう一度初心に戻り修正する。	6ヶ月
2	10	施設運営に関する具体的なテーマを入居者様、ご家族様に投げかける働きかけを強化したい。ご家族様に率直な意見を頂くために運営に関する具体的なテーマを投げかけ、話を聞く。	入居者様、ご家族様との関係が更に深く、出来るだけ話しやすい環境を作る努力をする。	積極的に職員から運営に関する(設備、レク等)事を投げかける話をし、意見に耳を傾ける。その意見に対しどう対応したら良いか、職員全員で話し合う。	6ヶ月
3	26	介護計画書の作成にあたり、三大介護を必ず取り入れた指示書的な書式とされている。1人1人に何が必要なのかアセスメントから導き出したニーズに合った個別性を重視したプランに変えていく必要がある。	介護計画やアセスメント、モニタリングを通して見えてくる個々のニーズを導き出し、作り出されるPDCAサイクルに沿って実施し記録を一貫性のある物にするようにしていく。	日々のケアを見つめ直すことで利用者様1人1人の必要とするケアを見つけて、個々に合ったプラン内容にしていく。	6ヶ月
4	35	地域住民に避難訓練参加の呼びかけは行っていない。地区消防団員の方との話し合いの場を作りたい。災害時の協力をお願いし、体制の具体化を図る。避難訓練への参加に協力してもらいたい。	入居者様全員が安全に避難出来るよう地域住民と連携を図る。	地域住民の皆様と連携を図るため、定期的に話し合いの場を持つ。地震、水害、火災など、それぞれの事態に対応出来るよう対策を具体化する。	6ヶ月
5	49	外出・庭への散歩が難しく、声掛けし、誘うことが少なくなっている。個々の意向を伺い、外へ行きたいと要望がある場合、それに応えていく。	外出をあまり好まない入居者様にも散歩等を楽しんで頂きたい。花壇に植えてある花や野菜を見たり育つ喜びを体験して頂く。	外に出ることで気分転換をして頂く。声掛けして「外へ行ってみませんか?」と、その入居者の興味ある話をして誘う。外に出た時の様子を他の職員と共有する。くり返すことで外に慣れて日課になるよう努める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。